

別記様式第1号（第12条関係）

受付番号	令和 4年 第 4号
受付日	令和 4年 8月 5日
送付日	令和 4年 8月 8日
答弁受理日	令和 4年 8月 29日

文書質問書

四日市市議会基本条例第16条第1項の規定に基づき、下記のとおり質問いたします。

質問者氏名	中川 雅晶
所管部局	健康福祉部

【件名及び質問の要旨】

民生委員・児童委員の選任について

令和4年度は民生委員・児童委員一斉改選が予定されています。先般、教育民生常任委員会の所管事務調査において改選スケジュール及び令和4年度一斉改選に伴う民生委員児童委員・主任児童委員の定数案が示されました。

民生委員・児童委員のなり手不足が喫緊の課題で各地区の推薦主体が苦悩しています。なり手不足により定数を減じると民生委員・児童委員1人当たりの担当世帯数が増加ならびに偏在が生じます。四日市市の民生委員の1人当たりの世帯数の最高の地区は337.6人、最低の地区は134.6人と大きな格差が生じているのが現状です。

（令和4年4月1日現在）また、充足率は改選ごとに減少傾向であり、継続・再任用が減少し、新任の比率が増加傾向です。また、現実的に選任方法も自治会等を中心にした地域へ丸投げが常態化しています。

次期改選にむけて、地区市民センター館長ならびに自治会長や民生委員・児童委員等から意見聴取及び改善の取組みのため総括を実施したのか。また総括の要旨を伺います。

さらに新たな民生委員・児童委員のあり方や選任に関する下記の点についての考え方を伺います。

① 民生委員・児童委員の職務における心理的負担が大きく、子育て支援、障がい者や

高齢者に関すること、日常支援などどこまでやるのか（どこまでが限界なのか）活動範囲の明確化及び重点化をはかる。

- ② 広く市民に対して民生委員・児童委員の存在や活動などを知ってもらう PR 活動は重要です。リーフレットやホームページ作成等の促進をはかる。
- ③ 現実の活動に適して、適時に的確な研修制度及び相談体制の構築をはかる。
- ④ 定期的に地区市民センター館長・自治会長等及び民生委員・児童委員の声や意見等を聴く機会をもうけ、課題解決に向けた取組み推進をはかる。
- ⑤ 活動記録様式の簡素化、デジタル化等をはかる。
- ⑥ 活動費の精査を実施し適切な活動費基準の構築をはかる。

以上、ご答弁くださいます様お願い致します。